

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 平成20年中の災害発生状況

(1) 人的被害

死者1人、重傷者1人、軽傷者10人

(2) 住家被害

全壊0棟、半壊0棟、一部破損0棟、床上浸水3棟、床下浸水2棟

第1表 平成20年中の災害発生状況

発生年月日 区分		災害名										計			
		大雨 6月28日	大雨 7月8日	突風 7月27日	落雷 7月28日	大雨 7月28日	落雷 8月9日	大雨 8月28日	落雷 9月3日	大雨 9月3日	落雷 12月16日				
人的被害	死者	人			1										1
	行方不明者	人													0
	負傷者	重傷	人			1									1
		軽傷	人			10									10
住家被害	全壊	棟													0
		世帯													0
		人													0
	半壊	棟													0
		世帯													0
		人													0
	一部破損	棟													0
		世帯													0
		人													0
	床上浸水	棟		2					1						3
		世帯		2					1						3
		人							4						4
	床下浸水	棟					1				1				2
		世帯					1				1				2
		人					2				3				5
非住家	公共建物	棟												0	
	その他	棟												0	
その他	田	流失・埋没	ha											0	
		冠水	ha											0	
	畑	流失・埋没	ha											0	
		冠水	ha											0	

発生年月日		災害名	大雨	大雨	突風	落雷	大雨	落雷	大雨	落雷	大雨	落雷	計
区分			6月28日	7月8日	7月27日	7月28日	7月28日	8月9日	8月28日	9月3日	9月3日	12月18日	
その他	学校	箇所											0
	病院	箇所											0
	道路	箇所											0
	橋りょう	箇所											0
	河川	箇所											0
	港湾	箇所											0
	砂防	箇所											0
	清掃施設	箇所											0
	崖くずれ	箇所											0
	鉄道不通	箇所											0
	被害船舶	隻											0
	水道	戸											
	電話	回線											
電気	戸												
ガス	戸												
火災発生	建物	件											0
	危険物	件											0
	その他	件											0
	り災世帯数	世帯	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	り災者数	人	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
	公立文教施設	千円											0
	農林水産業施設	千円	2,500	1,000	0			3,413	2,000		2,822	21	11,756
	公共土木施設	千円											0
	その他の公共施設	千円				133				794			927
	小計	千円	2,500	1,000	0	133	0	3,413	2,000	794	2,822	21	12,683
	公共施設被害市町村数	団体	1	1		1		1	1	1	1	1	8
その他	農産被害	千円											0
	林産被害	千円											0
	畜産被害	千円											0
	水産被害	千円											0
	商工被害	千円											0
	その他	千円											0
	小計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	被害総額	千円	2,500	1,000	0	133	0	3,413	2,000	794	2,822	21	12,683
都道府県	設置	なし											
災害対策本部	解散	なし											
災害対策本部設置市町村		なし											
災害救助法適用市町村		なし											
	消防職員出動延人数			6					20				26
	消防団員出動延人数			0					0				0

2 過去5年間の災害発生状況

年月日	種類	被害状況	気象状況
2004 (平16) 4.27	大雨による被害	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし (3) 被害箇所 道路 8ヶ所 崖くずれ 3ヶ所 (4) 被害総額 31,800千円	山陰沖西部海上に中心を持つ低気圧が前線を伴い発達しながら日本海を東北東に進んだため27日の早朝から夕方にかけて大雨となった。
2004 (平16) 5.16~17	大雨による被害	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし (3) 被害箇所 道路 7ヶ所 河川 3ヶ所 崖くずれ 3ヶ所 (4) 被害総額 171,970千円	16日3時に前線を伴った低気圧が山陰沖から東北進し、その後17日9時頃にかけて福井県地方には前線が停滞した。 このため、16日の低気圧通過時と17日の停滞前線により大雨となった。
2004 (平16) 6.21	台風第6号	(1) 人的被害 重傷者 1人	台風第6号は21日9時半頃に高知県室戸市付近に上陸し、午後には京都市舞鶴市付近、北陸・東北の沖合を経て、22日3時に津軽海峡の西で温帯低気圧に変わった。福井県では最接近となった21日昼前から夕方にかけて風雨ともに強く、敦賀では6月の日最大週間風速となる39.5m/sを記録した。
2004 (平16) 7.18	福井豪雨	(1) 人的被害 死者 4人 行方不明 1人 重傷者 4人 軽傷者 15人 (2) 住家被害 全壊 57棟57世帯188人 半壊 142棟139世帯466人 一部破損212棟211世帯766人 床上浸水 3,323棟3,313世帯10,366人 床下浸水 10,334棟10,326世帯31,573人 (3) 非住家被害 公共建物 47棟 その他 829棟 (4) 被害箇所 田被害 2,067ha 道路 634ヶ所 橋りょう 18ヶ所 河川 311ヶ所 崖くずれ 185ヶ所 鉄道不通 5ヶ所 (5) り災 り災世帯 3,509世帯 り災者 11,005人 (6) 公共施設被害額 9,362,873千円 (7) 災害対策本部設置市町村 福井市、武生市、大野市、 鯖江市、美山町、松岡町、 今立町、池田町、清水町	日本海から北陸地方(福井県)に延びる梅雨前線の活動が活発化し、強い雨雲が福井県嶺北地方に流れ込んだ。 このため18日0時過ぎから所々で激しい雨を観測し、特に18日明け方から昼前にかけては嶺北北部を中心に1時間に80mm以上の猛烈な雨を観測した。美山町では降り始め(17日15時)からの総降水量は、285mmとなった。 この雨で河川の堤防が決壊するなど、各地で大きな被害が発生した。 (福井の極値更新状況) 日最大風速・風向 14.4m/s西南西(7月として) 日最大瞬間風速・風向 27.3m/s西南西(7月として) 日最大10分間降水量 19.0mm(7月として) 日最大1時間降水量 75.0mm(統計開始以来) 月最大24時間降水量 198.0mm(統計開始以来)

年月日	種類	被害状況	気象状況
2004 (平16) 8. 19	風害	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし (3) 農林被害総額 720千円	台風第15号は九州の西海上を通過して、日本海を北東に進み、20日06時過ぎ、青森県津軽半島に上陸した。 福井県では最接近した19日夜に福井で最大瞬間風速29.1m/sを記録した。
2004 (平16) 8. 30～31	台風第16号	(1) 人的被害 重傷者 1人 (2) 住家被害 一部破損 3棟 3世帯 6人 (3) 非住家被害 その他 2ヶ所 (4) 被害箇所 道路 8ヶ所 (5) 被害総額 78,849千円	台風第16号は30日9時半頃鹿児島県に上陸し、中国地方を通過して日本海を北東に進んだ。福井地方には30日23時過ぎから31日1時頃にかけて最接近し、福井で31日0時51分に最大瞬間風速31.4m/sを記録したのをはじめ、県内全域で強い風が吹いた。また、奥越を中心に大雨となった。
2004 (平16) 9. 5	大雨による被害	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし 床下浸水 5棟 5世帯 13人	前線が山陰沖から福井県を通り、三陸沖にかけ停滞していた。 一方、沖縄の南には台風第18号があり、前線に向かって南から温かく湿った空気が入ったため、前線の活動が活発となり、嶺北北部を中心に大雨となった。
2004 (平16) 9. 7	台風第18号	(1) 人的被害 重傷者 2人 軽傷者 5人 (2) 住家被害 一部破損 2棟 2世帯 4人 (3) 非住家被害 その他 4ヶ所 (4) 被害総額 44,339千円	台風第18号は大型で強い勢力を保ったまま7日9時半には長崎県に上陸し、その後日本海を北東に進んだ。 福井県には夕方から宵の内にかけて最接近し、8日朝には北海道西方沖に達した。
2004 (平16) 9. 14	大雨による被害	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 床下浸水 14棟 14世帯 41人 (3) 非住家被害 その他 1ヶ所 (4) 被害箇所 崖くずれ 1ヶ所	14日3時には北海道に低気圧があり、ここから延びる寒冷前線が東北地方から能登半島を通り東海に延びていた。 この前線が南下しながら県内を通過したことに伴い、14日明け方から昼前にかけて県内各地で短時間に強い雨となった。
2004 (平16) 9. 29～30	台風第21号	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 床下浸水 159棟 (3) 非住家被害 その他 1ヶ所 (4) 被害総額 1,155千円	台風第21号は29日8時半頃に鹿児島県に上陸し、その後四国地方、大阪市付近を通過後22時から30日0時頃にかけて県内を通過し、30日12時に三陸沖で温帯低気圧に変わった。
2004 (平16) 10. 1	崖くずれ	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし (3) 被害箇所 崖くずれ 1ヶ所	福井市の山林で、山肌の上部がえぐられたような状態で約25立方メートルの土砂崩れが発生した。

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2004 (平 16) 10. 5	地震	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし (3) 非住家被害 その他 1ヶ所	福井県嶺北地方を震源とする地震 (10月5日午前8時33分) M4.8 深さ12km 北緯 35度55分 東経 136度22分 震度4 大野市、池田町 震度3 福井市、武生市、勝山市、 美山町、上志比村、和泉村、 今立町、南条町、朝日町
2004 (平 16) 10.20~21	台風第23号	(1) 人的被害 軽傷者 1人 (2) 住家被害 全壊 3棟 3世帯 8人 半壊 10棟 10世帯 35人 一部破損 298棟 232世帯 770人 床上浸水 30棟 30世帯 95人 床下浸水 423棟 358世帯 1,127人 (3) 非住家被害 公共建物 63棟 その他 192棟 (4) 被害箇所 道路 197ヶ所 河川 123ヶ所 崖くずれ 51ヶ所 鉄道不通 1ヶ所 被害船舶 2隻 (5) り災 り災世帯 42世帯 り災者 136人 (6) 公共施設被害額 472,909千円 (7) 災害対策本部設置市町村 福井市、武生市、小浜市、 大野市、鯖江市、あわら市、 美山町、松岡町、三国町、 坂井町、今立町、池田町、 朝日町、清水町、上中町、 名田庄村、高浜町	台風第23号は20日13時頃、高知県 土佐清水付近に上陸し、近畿・東海・関 東甲信地方を横断し、21日3時頃に銚 子沖に進んだ。 県内には20日19時頃から21時過ぎ にかけて最接近し、県内全域が暴風域に 入った。また、通過後も21日明け方に かけ強風となった。
2005 (平 17) 1. 11	大雪	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 一部破損 1棟 床下浸水 1棟1世帯1人 (3) 非住家被害なし	8日から冬型の気圧配置が続いた。 9日から11日にかけて、北陸の上空 に氷点下30℃以下の強い寒気が流れ込 み、冬型の気圧配置が強まった。 このため、9日から各地でまとまった 降雪を観測した。大野市九頭竜では、11 日に50センチの降雪があり、最深積雪は 118センチとなった。

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2005 (平 17) 1. 28~ 2. 4	大雪	(1) 人的被害 軽傷 3人 (2) 住家被害 一部破損 1棟 (3) 非住家被害なし	1月29日、発達中の低気圧が日本海北部を東進後、冬型の気圧配置となり、2月1日は強い冬型の気圧配置で嶺北中心に大雪となった。 その後も冬型の気圧配置が続き、4日まで断続的な降雪となった。
2005 (平 17) 2. 1	大雪	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 一部破損 1棟1世帯 床下浸水 3棟3世帯11人 (3) 非住家被害なし	1日は北陸の上空に氷点下40℃以下の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まり嶺北中心に大雪となった。 1日の降雪(最深積雪)は、大野市九頭竜で59センチ(175センチ)、福井で34センチ(45センチ)、大野で45センチ(95センチ)を観測した。
2005 (平 17) 4. 20	強風	(1) 人的被害 軽傷 1人 (2) 住家被害なし (3) 非住家被害なし	20日09時には沿海州に中心を持つ発達した低気圧が北東進しており、中心から延びる寒冷前線が九州北部に達していた。また、別の低気圧が日向灘にあり、前線を伴って北東進していた。一方、日本の東海上には高気圧があつて日本付近は気圧傾度が大きくなっていた。 このため県内では、19日夜から20日夕方にかけて南東から南の風が強く吹いた。 福井で6時17分に25.9m/s(南)、敦賀で7時01分に32.3m/s(南南東)の最大瞬間風速を観測した。
2005 (平 17) 5. 8	崩土被害	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし (3) 非住家被害なし (4) 被害箇所 崖くずれ1箇所 (5) 公共施設被害額 2,905千円	7日に低気圧が日本海北部と関東の東海上を北東に進んだ。 このため、県内では6日から断続的な降水があり、6日昼前から7日朝のうちにかけての降水量は、越廼で74ミリ、坂井市三国で70ミリを観測する大雨となった。
2005 (平 17) 6. 29	大雨	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし (3) 非住家被害なし (4) 被害箇所 田 流出0.07ha 道路4箇所 (5) 公共施設被害額 12,600千円	梅雨前線は、28日朝には大陸から朝鮮半島を経て新潟県にかかっていたが、夜から福井県に南下し、活動が活発となり、29日にかけて停滞した。 このため28日夕方から29日明け方にかけて嶺北地方で、また29日明け方から昼頃にかけては嶺南地方でまとまった降水となった。その後も30日昼過ぎまで断続的な降水があつた。 2日間(28日~29日)の降水量は、坂井市三国で136ミリ、勝山で123ミリ、大野市九頭竜で129ミリ、福井で84ミリ、敦賀で62ミリ、美浜で100ミリを観測した。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2005 (平 17) 7. 4	大雨	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 床下浸水 9 棟 (3) 非住家被害なし (4) 被害箇所 田 流出 0.76ha 道路 14 箇所 崖崩れ 1 箇所 (5) 公共施設被害額 73,300 千円	3 日 21 時には梅雨前線が西日本に停滞し、前線上の低気圧が朝鮮半島付近を東進していた。4 日 09 時には低気圧が能登沖まで進み、梅雨前線も活発化しながら徐々に北上した。 このため、嶺北を中心に大雨となった。4 日の降水量は、大野市九頭竜で 177 ミリ、勝山で 171 ミリ、大野で 156 ミリ、福井で 115 ミリを観測した。
2005 (平 17) 8. 2	大雨	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 床下浸水 1 棟 1 世帯 1 人 (3) 非住家被害なし	朝鮮半島から北海道にかけての日本海に前線が停滞していた。 一方、フィリピンの東海上には台風第 9 号があり、福井県内には南から暖かく湿った空気が流れこみ、大気の状態が不安定となった。 このため、日最大 1 時間降水量が小浜で 28 ミリ (17 時 30 分)、福井市美山で 26 ミリ (20 時 10 分) を観測する大雨となった。
2005 (平 17) 8. 13	大雨	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 床上浸水 4 棟 4 世帯 床下浸水 30 棟 30 世帯 (3) 非住家被害 公共建物 2 棟 (4) 被害箇所 道路 20 箇所 河川 5 箇所 崖崩れ 1 箇所 (5) 公共施設被害額 8,000 千円 (6) その他 300 千円 (7) 災害対策本部設置市町村 高浜町	福井県付近に停滞している前線の活動が活発となり、嶺南地方を中心に大雨となった。 日最大 1 時間降水量が美浜で 63 ミリ (06 時 30 分)、大飯で 61 ミリ (09 時 40 分) の非常に激しい雨が降り、美浜では 13 日 1 日の降水量が 184 ミリとなった。
2005 (平 17) 9. 6~ 9. 7	台風 14 号	(1) 人的被害 死者 1 名 (2) 住家被害 一部破損 3 棟 1 世帯 8 人 (3) 非住家被害 公共建物 2 棟 その他 2 棟 (4) 被害箇所 学校 10 箇所 停電 30 戸 (5) 公共施設被害額 1,167 千円 (6) 農産被害 22,492 千円 (7) 商工被害 1,400 千円 (8) その他 285 千円	大型で強い台風第 14 号は、6 日 12 時に鹿児島市付近を通過後、14 時頃に長崎県諫早市付近に上陸し、その後再び海上に抜け、19 時には進路を北北東に変えて日本海を進み、7 日昼前には福井県に最接近した。 福井県内では台風の北上に伴い、6 日夜遅くから急に南よりの風が強まり、敦賀で 23 時 22 分に最大瞬間風速 35.6m/s (南東) を、また福井で 7 日 09 時 14 分に最大瞬間風速 30.3m/s (南) を観測した。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2005 (平 17) 12. 23	強風	(1) 人的被害なし (2) 物的被害なし (3) 非住家被害 その他 2 棟	21 日の夜に能登沖で発生した低気圧が 22 日には三陸沖で急激に発達して強い冬 型の気圧配置となった。 敦賀では 09 時 36 分に 27. 3m/s(北西)、 福井で 10 時 12 分に 23. 1m/s(北北西) の 日最大瞬間風速を観測した。23 日も引き 続き冬型の気圧配置となり、福井で 11 時 46 分に 18. 3m/s(西) の日最大瞬間風速を 観測した。
2005 (平 17) 12. 13 ～ 2006 (平 18) 3. 31	平成 18 年豪 雪	(1) 人的被害 死者 14 名 重傷 36 人 軽傷 126 人 (2) 住家被害 全壊 1 棟 1 世帯 1 人 半壊 4 棟 3 世帯 4 人 一部破損 390 棟 104 世帯 219 人 (3) 非住家被害 公共建物 6 棟 その他 103 棟 (4) 公共施設被害 482, 710 千円 (5) 農産被害 32, 973 千円 (6) 林産被害 506, 145 千円 (7) 畜産被害 2, 400 千円 (8) その他 69, 111 千円 (9) 被害総額 1, 093, 339 千円 (10) 災害対策本部設置市町 永平寺町、池田町	12 月中旬から続いた断続的な強い寒気 の流れ込みにより、強い冬型の気圧配置が 1 月中旬まで続いた。 【12 月】 12 日～14 日、強い寒気(氷点 下 36℃以下)が福井県上空に流れ込ん で強い冬型の気圧配置が持続したため、 嶺北全域と嶺南東部を中心に大雪 17 日～18 日、非常に強い寒気(氷点下 40℃以下)が福井県上空に流れ込み、冬 型の気圧配置が強まり、山沿い・山間部 を中心に大雪 22 日、強い寒気(氷点下 38℃以下)が 福井県上空に流れ込み、冬型の気圧配置 が強まり、山沿い・山間部や嶺南を中心 に 24 日朝にかけて大雪 【1 月】 3 日～8 日、強い寒気(氷点下 36℃ 以下)が福井県上空に流れ込み、冬型の 気圧配置が強まった。 7 日は福井で 20cm の日降雪量を観測 22 日～23 日、強い寒気(氷点下 38℃ 以下)が福井の上空に流れ込み、一時冬 型の気圧配置が強まった。 各地の最深積雪は、敦賀 73 センチ(12 月 23 日)、大野市九頭竜 241 センチ(12 月 27 日)、福井 95 センチ(1 月 8 日)、大野 162 セ ンチ(1 月 10 日)、南越前町今庄 174 センチ(1 月 8 日)、越前市武生 92 センチ(1 月 8 日)、 小浜 43 センチ(1 月 8 日)。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2006 (平 18) 7. 18~ 7. 19	平成 18 年 7 月豪雨	(1) 人的被害 死者 2 名 (2) 住家被害 全壊 3 棟 3 世帯 11 人 半壊 1 棟 1 世帯 6 人 一部破損 5 棟 5 世帯 16 人 床上浸水 3 棟 3 世帯 7 人 床下浸水 196 棟 196 世帯 334 人 (3) 非住家被害 その他 1 棟 (4) 被害箇所 道路 186 箇所 河川 147 箇所 崖くずれ 49 箇所 電話 8 回線 電気 900 戸 ガス 980 戸 (5) り災 り災世帯 7 世帯 り災者 24 人 (6) 公共施設被害 3,371,991 千円 (7) 農産被害 10,502 千円 (8) 林産被害 560,800 千円 (9) その他 25,800 千円 (10) 被害総額 3,969,093 千円 (11) 災害対策本部設置市町村 福井市、鯖江市、あわら市、 越前市、坂井市、永平寺町、 越前町	15 日から 24 日にかけて梅雨前線 が北陸付近に停滞し活動が活発化し たため、大雨となった。特に 15 日夜 から 19 日明け方にかけて断続的に 降り続き、5 日間の総降水量は勝山 で 477 ミリに達したほか、嶺北各地で 400 ミリを超えた。
2006 (平 18) 8. 21	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水 1 棟	21 日は南から湿った空気が入り 大気の状態が不安定となり、福井で は 2 日間で 30 ミリの雨となったが、敦 賀では小雨程度だった。
2006 (平 18) 9. 6~ 9. 7	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 公共施設被害額 10,370 千円	前線の活動が活発となった 6 日 は、福井で月最大 24 時間降水量、美 山および勝山で日降水量の 9 月の記 録を更新する大雨となった。 6 日 08 時の降り始めから 8 日 03 時の降り終わりまでの総雨量は多い ところで 200 ミリを超えた。(福井市 美山 235 ミリ、坂井市春江 176 ミリ、越 前市武生 182 ミリ、福井 165 ミリ、勝山 152 ミリ)

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2007 (平19) 2. 15	高波	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水1棟 (3) り災 り災世帯 1世帯 り災者 2人	15日09時、北海道西方海上に発達した低気圧があり東進した。一方東シナ海に中心を持つ高気圧が日本付近に張り出していた。 このため日本付近は強い冬型の気圧配置となっていた。沿岸では、大しけとなった。
2007 (平19) 5. 10	暴風	(1) 人的被害 軽傷 2人 (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 公共建物 3棟 その他 4棟 (4) 公立文教施設被害 12,190千円 (5) その他公共施設被害 1,095千円 (6) その他の被害 716千円 (7) 被害総額 14,001千円	前線を伴った低気圧が、若狭湾から県内を通過し東進した。このため嶺南地方では低気圧通過直後一時的に北よりの暴風となった。 (日最大瞬間風速) 福井 23.3m/s(北北西) 16時11分 敦賀 31.4m/s(北) 16時15分
2007 (平19) 6. 22	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 6,149千円	22日09時、東北南部から北陸地方を通過して東シナ海にのびる梅雨前線は、日中南下し、県内を通過したため、短時間に強い降水となった。 (日最大1時間降水量) 福井20.0ミリ、敦賀8.5ミリ、 大野市九頭竜20ミリ、勝山18ミリ (日降水量) 福井86.5ミリ、敦賀44.0ミリ、 大野市九頭竜97ミリ、勝山90ミリ
2007 (平19) 6. 29～ 6. 30	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 11,710千円 (4) 公共土木施設被害 3,000千円 (5) 被害総額 14,710千円	29日09時、能登沖に前線を伴った低気圧があり、15時には秋田付近、21時には三陸沖に進んだ。これに伴い低気圧からのびる寒冷前線が県内を通過したため、29日に嶺北地方を中心に短時間に激しい降水となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 福井28.0ミリ、敦賀20.0ミリ、大野25ミリ、 勝山で25ミリ、池田町板垣で30ミリ、大野市九頭竜で33ミリ (日降水量(29日)) 福井71.5ミリ、敦賀35.5ミリ、大野81ミリ、 勝山100ミリ、池田町板垣78ミリ、大野市九頭竜99ミリ
2007 (平19) 7. 14～ 7. 15	台風4号	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) その他の被害 98千円	14日には台風第4号が大隅半島に上陸し、その後本州の南岸を東進した。15日は南から暖かく湿った空気が入り、梅雨前線の活動が活発となった。 14日～15日にかけての降水量は、大野市九頭竜で123ミリを観測した他、県内各地で50ミリ前後となった。

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2008 (平20) 6. 28	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 2,500千円	28日21時には前線を伴った低気圧が対馬海峡にあって東に進み、29日には前線が西日本から東海地方に停滞した。 このため、県内では強い雨が降り、奥越では降り始めからの総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 大野23.0ミリ、越廼22.5ミリ、武生20.0ミリ (日降水量(29日)) 九頭竜118.5ミリ、大野89.0ミリ、今庄86.0ミリ、勝山84.5ミリ
2008 (平20) 7. 8	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水2棟 (3) 罹災世帯 2世帯 (4) 農林水産業施設被害 1,000千円	上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、午前中を中心に短時間に激しい雨となった。 (最大1時間降水量(8日)) 美浜47.0ミリ、福井44.0ミリ、美山40.5ミリ
2008 (平20) 7. 27	突風	人的被害 死者 1人 重傷 1人 軽傷 10人	日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 このため、積乱雲が発達し、積乱雲通過時に突風が発生した。 突風をもたらした現象はガストフロント、強さは藤田スケールでF0と推定される。 (日最大風速(27日)) 敦賀 16.2m/s(西北西) 12時56分 (日最大瞬間風速(27日)) 敦賀 29.7m/s(西北西) 12時49分
2008 (平20) 7. 28	大雨・落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水1棟 (3) 公共施設被害 133千円	山陰沖から能登半島にかけて前線が停滞しており、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 このため、嶺北地方を中心に雷を伴い短時間に非常に激しい雨となった。 (日最大1時間降水量(28日)) 越廼67.5ミリ、武生51.5ミリ、今庄36.5ミリ (日降水量(28日)) 越廼89.5ミリ、武生74.5ミリ、今庄63.5ミリ
2008 (平20) 8. 9	落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 3,413千円	大気の状態が不安定となり、嶺北地方で雨雲が発達した。福井市では夜、雷を観測した。 (日最大1時間降水量(9日)) 武生5.0ミリ

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2008 (平20) 8. 28	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水1棟 (3) り災世帯 1世帯 (4) 農林水産業施設被害 2,000千円	福井県付近に前線が停滞し、南から暖かく湿った空気が流れ込み、前線活動が活発となった。 このため、嶺北地方では非常に激しい雨が降り、総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(28日)) 大野64.5ミリ、勝山58.5ミリ、板垣56.5ミリ (日降水量(28日)) 板垣113.5ミリ、勝山97.5ミリ、大野89.0ミリ
2008 (平20) 9. 3	大雨・落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水1棟 (3) 農林水産業施設被害 2,822千円 (4) 公共施設被害 794千円	2日21時には日本海と四国沖に低気圧があつて共に北東に進む。 その後3日9時頃には寒冷前線が福井県を通過した。 このため、3日未明から朝にかけて大気の状態が不安定となり、嶺南地方では雷を伴い非常に激しい雨となった。 また、県内では降り始めからの総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(3日)) 美浜52.0ミリ、春江40.5ミリ、武生39.0ミリ (日降水量(3日)) 美浜147.5ミリ、武生123.5ミリ、春江104.0ミリ
2008 (平20) 12. 18	落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 21千円	18日は冬型の気圧配置となり上空には寒気が入ったため大気の状態が不安定となった。 福井市では18日朝から昼過ぎにかけて雷を観測した。 (日最大1時間降水量(18日)) 美浜9.5ミリ、武生6.5ミリ

第2章 平成20年の天候経過

1 天候の特徴

【年(1～12月) ー高温、少雨、遅い梅雨入り・梅雨明けー】

◇冬(2007年12月～2008年2月)少雪

12月は、低気圧や気圧の谷が北日本を通過し、曇りや雨の日が多くなりましたが、12月末から1月はじめにかけて、一時的に強い冬型の気圧配置となったため、雪の降る荒れた天候となりました。

その後、1月中頃までは高気圧に覆われ、晴れの日が多くなりましたが、下旬には再び冬型の気圧配置が強まりました。

2月は、低気圧が本州の南岸で発達することが多く、天気は短い周期で変化しました。

福井の冬の平均気温は平年差 -0.1°C (平年並)、降水量は平年比 99% (平年並)、日照時間は平年比 92% (少ない)、降雪量は福井、敦賀ともに少なくなりました。

◇春(3～5月)高温(特に3月顕著)

3月は、移動性高気圧に覆われ晴れる日が多かったため顕著な高温となり、4月、5月も気温の高い状態が続きました。

3月から4月にかけて、北からの高気圧に覆われる日が多くなりましたが、本州の南に低気圧が発生することが多く、この影響で天気は周期的に変化しました。

5月は高気圧に覆われ晴れの日が多くなりましたが、中旬は北からの冷たい高気圧の影響で気温が低くなりました。

福井の春の平均気温は平年差 $+0.9^{\circ}\text{C}$ (高い)、降水量は平年比 102% (平年並)、日照時間は平年比 104% (多い)となりました。

◇夏(6～8月)遅い梅雨入り・梅雨明け、高温、少雨(特に敦賀で顕著)、突風災害発生

6月は、上旬は梅雨前線が本州の南岸に停滞したため、曇りや雨の日が多くなりましたが、中旬には高気圧に覆われ晴れる日が多くなりました。

梅雨入りは6月19日ごろと平年(6月10日ごろ)より遅く、梅雨前線は本州南岸や南海上に停滞することが多かったため降水量は少なくなりました。

7月に入っても同様で、中旬にかけて梅雨前線の活動は不活発でした。下旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、27日には敦賀市、越前市、大野市で突風による気象災害が発生しました。

8月は上旬の中頃まで前線の影響を受けたため、梅雨明けは8月6日ごろと平年(7月22日ごろ)よりかなり遅くなりました。

福井の夏の平均気温は平年差 $+0.4^{\circ}\text{C}$ (高い)、降水量は平年比 80% (少ない)、日照時間は平年比 106% (平年並)となりました。

◇秋(9～11月)高温(特に10月の高温顕著)、少雨(特に敦賀で9月顕著)

9月の中旬までは、高気圧に覆われ晴れの日が多くなりました。下旬には気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

10月は高気圧に覆われ晴れの日が多くなりました。

11月は寒暖の差が大きく、特に19日から20日にかけては冬型の気圧配置が強まり、福井では19日に初雪を、20日には積雪の初日を観測しました。

福井の秋の平均気温は平年差 +0.4℃ (高い)、降水量は平年比 89% (平年並)、日照時間は平年比 100% (平年並) となりました。

◇12月 高温・多照顕著

上旬から中旬にかけては寒冷前線の通過により短時間に強い雨の降る日がありましたが、高気圧に覆われ晴れて暖かい日が多く、多照が顕著となりました。

下旬には前線の通過や、冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多く、年末にかけて冬型の気圧配置が強まり雪となりました。

福井の12月の平均気温は平年差 +1.5℃ (かなり高い)、降水量は平年比72% (少ない)、日照時間は平年比 149% (かなり多い) となりました。

◇年 (1月～12月) 高温・少雨

2008年の年平均気温の平年差は福井で+0.4℃ (高い)、敦賀で+0.7℃ (高い)、年降水量の平年比は福井で87% (少ない)、敦賀で75% (かなり少ない)、年日照時間の平年比は福井で106% (多い)、敦賀で102% (平年並) となりました。

観測項目	福 井			敦 賀		
	平均気温 (℃)	降水量 (ミリ)	日照時間 (時間)	平均気温 (℃)	降水量 (ミリ)	日照時間 (時間)
本 年	14.7	1964.5	1703.8	15.7	1662.5	1621.1
平 年 値	14.3	2257.9	1610.2	15.0	2230.7	1583.5
平年差比	+0.4	87%	106%	+0.7	75%	102%
階級区分	高い	少ない	多い	高い	かなり少ない	平年並
前 年	15.0	2000.0	1681.9	16.0	2026.5	1663.6

◇台風

台風の発生数は22個 (平年の年間発生数26.7個)、上陸数は0個 (平年の上陸数は2.6個) といずれも平年より少なくなりました。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生 (台風番号)				1	2	6	7	9	13	17	19	22	22個	26.7個
上陸 (台風番号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0個	2.6個
北陸地方への接近*1 (接近数)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1個	2.2個

*1: 台風が上陸したかどうかにかかわらず、台風が中心が北陸地方のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を北陸地方への接近としています。

(参考) 過去の台風経路図等の情報は、福井地方気象台ホームページの防災情報欄、「台風情報」内の「過去の台風資料」から検索できます。)

2 月別気象概況

1月 昨年12月末から1月のはじめにかけて強い冬型の気圧配置の影響で荒れた天気となりましたが、長続きせず、中旬以降は大陸からの高気圧に覆われ晴の日もありました。下旬には再び冬型の気圧配置が多くなり雪や雨の日が多くなりました。28日は放射冷却現象により県内各地で気温が下がりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年並、月降水量は、福井で平年よりかなり少なく、敦賀で平年より少なく、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年より多くなりました。

2月 上旬は低気圧が本州南岸や本州付近を通過し、短い周期で天気に変化しました。中旬は、12日に低気圧が発達しながら通過し、強風が吹きました。その後、18日にかけて冬型の気圧配置が続き、まとまった降雪となりました。下旬の初めと終わりは高気圧に覆われ晴の日が多くなりましたが、旬の中頃は一時的に冬型の気圧配置となり、23日には県内で強風が吹き、強風や高波の影響により、交通機関に影響がありました。また、29日には、北陸地方で春一番が吹きました。

月平均気温は、福井で平年より低く、敦賀で平年並、月降水量は、福井、敦賀共に平年並、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並となりました。

3月 はじめと終りに冬型の気圧配置となり、寒気が南下しましたが、中旬から下旬の中頃まで高気圧に覆われ晴れた日が多く、気温が高く経過しました。また、19日から20日にかけては本州の南を通過した低気圧の影響でまとまった雨となりました。

平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり高くなりました。降水量は、福井、敦賀共に平年並となりました。日照時間は、福井、敦賀共に平年並となりました。

4月 上旬と中旬は本州の南岸を低気圧が周期的に通過した影響で天気は周期的に変わりました。下旬は一時的に寒気が入って天気がくずれる日もありましたが、高気圧に覆われて晴れる日が多くなりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年より高く、月降水量は、福井、敦賀共に平年並となりました。月間日照時間は、福井で平年並、敦賀で平年より少なくなりました。

5月 上旬は高気圧に覆われ晴れの日が多く平均気温は平年より高くなりました。4日には県内の5観測地点で今年初の真夏日となりました。中旬は晴れた日が多くなりましたが、北からの冷たい高気圧や寒気を伴った低気圧の影響で平均気温は平年より低くなりました。下旬は高気圧に覆われ、晴れの日もありましたが、本州の南岸を通過する低気圧の影響で曇りや雨の日もあり、降水量は多くなりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年より高く、月降水量は、福井で平年より多く、敦賀で平年並、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並となりました。

6月 上旬は梅雨前線が本州の南岸に停滞したため、曇りの日が多くなりました。このため、気温が低く、日照時間は少なくなりました。中旬は、一時的に高気圧の勢力が強まったため、晴れて降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多くなりました。19日に新潟地方気象台は「北陸地方は、19日ごろ梅雨入りしたとみられます。」と発表しました。下旬は、一時、梅雨前線の活動が活発となり、大雨となった日がありました。

月平均気温は、福井で平年より低く、敦賀で平年並でした。月降水量は、福井、敦賀共に平年より少なくなりました。月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並でした。

7月 梅雨前線は平年に比べ活動が弱く、太平洋高気圧の日本付近への張り出しが強かったため、高気圧に覆われ晴れて暑い日が多く 中旬から下旬前半にかけて、各地で35℃以上の猛暑日を記録しました。雨は上旬・中旬で一時、前線や寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、局地的な強い雨が降りました。特に8日には県内の所々で激しい雨が降り、記録的短時間大雨情報や土砂災害警戒情報が発表され、道路冠水などの浸水害がありました。下旬後半には、上空の寒気と湿った気流の影響で大気の状態が非常に不安定となり、27日には県内には竜巻注意情報が発表され、敦賀市・越前市・大野市で突風による災害が発生しました。28日には局地的に激しい雨が降り、落雷、浸水害があり、交通機関に影響がでました。

月平均気温は、福井で平年より高く、敦賀で平年よりかなり高く、月降水量は、福井で平年並、敦賀で平年より少なく、月間日照時間は、福井、敦賀で平年より多くなりました。

8月 月の前半は高気圧に覆われて、晴れて気温が高い日が多くなりましたが、下層の湿った気流と上空の寒気により、大気の状態が不安定となって、局地的に雷を伴った激しい雨が観測されました。月の後半は、前線や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多く、局地的に大雨となりました。特に28日に大野、勝山、板垣で日最大1時間降水量が50mmを超える非常に激しい雨を観測しました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年並、月降水量は、福井で平年並、敦賀で平年より少なく、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並となりました。

9月 はじめは低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨となり、3日には寒冷前線の影響で激しい雨を観測した地点があり、気象災害が発生しました。上旬後半から中旬前半にかけて高気圧に覆われ、晴れの日が多くなり、中旬後半から下

旬にかけては曇りや雨の日が多くなりました。特に29日には気温が低く、9月として「日最高気温の低い方から」の極値順位を更新した地点がありました。

月平均気温は、福井で平年並、敦賀で平年より高く、月降水量は、福井で平年並、敦賀で平年よりかなり少なく、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並となりました。

- 1 0 月 この期間は、寒気の南下が弱く高温となりました。上旬は本州南岸の前線や低気圧の影響を受けましたが、降水量は平年に比べ少なく、気温は旬の後半を中心に高く推移しました。中旬は高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。下旬後半には冬型の気圧配置となり、寒気と気圧の谷の影響で曇りや雨の日が続きました。26日以降は上空に寒気が流れ込み、27日には嶺北の海上で竜巻が発生するなど大気の状態が不安定となる日が多くなりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり高く、月降水量は、福井で平年並、敦賀で平年よりかなり少なく、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並となりました。

- 1 1 月 前半は天気が周期的に変わり、寒暖の差も大きくなりました。後半は低気圧や、冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多くなりました。福井では19日に「初雪」を、20日には「積雪の初日」を観測しました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年並、月降水量は、福井、敦賀共に平年並、月間日照時間は、福井は平年より少なく、敦賀は平年並となりました。

- 1 2 月 上旬から中旬にかけては寒冷前線の通過により短時間に強い雨の降る日がありましたが、高気圧に覆われ晴れて暖かい日が多く、多照が顕著となりました。下旬には前線の通過や、冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多く、年末にかけて冬型の気圧配置が強まり雪となりました。

月平均気温は、福井で平年より高く、敦賀で平年よりかなり高く、月降水量は、福井で平年並、敦賀で平年より少なく、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年よりかなり多くなりました。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

平成20年度福井県総合防災訓練については、訓練当日、8時4分に嶺南東部に大雨・洪水警報が発表され、防災関係機関の警戒態勢を万全に整えるため、訓練を中止することとした。

なお、南越前町の住民避難訓練や、住民対象の防災研修会等の内容については、予定どおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を実施する。また、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図る。

今年度は南越前町に主会場を置き、丹南地域の全市町の参画を得て、地震をはじめとする大規模災害に対応できる広域的な防災体制の確立を図る。

2 日時

平成20年 9月7日(日) 8時30分～12時00分

3 場所

- (1) 主会場(南越前町板取(今庄365スキー場)) 防災関係機関訓練、住民参加訓練
- (2) 避難訓練会場(南越前町大門(今庄山村広場グラウンド)) 住民避難訓練
- (3) 各市町会場 丹南地域各市町村庁舎 市町職員訓練

4 主催 福井県、南越前町、鯖江市、越前市、池田町、越前町

5 訓練参加機関(順不同)

- (1) 国の行政機関
中部管区警察局福井県情報通信部、舞鶴海上保安部、敦賀海上保安部、東京管区気象台福井地方気象台、近畿地方整備局福井河川国道事務所
- (2) 自衛隊
自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、航空自衛隊第6航空団、航空自衛隊小松救難隊
- (3) 応援県関係
富山県(防災航空隊)
- (4) 警察関係
福井県警察本部、岐阜県警察広域緊急援助隊、越前警察署
- (5) 消防関係
福井県消防長会、南越消防組合消防本部、福井市消防局、敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、嶺北消防組合消防本部、永平寺町消防本部、南越前消防団
- (6) 医療関係

(社)福井県医師会、日本赤十字社福井県支部、福井赤十字病院、福井県赤十字血液センター、福井県赤十字救護奉仕団、南越前町赤十字奉仕団、福井県無線赤十字奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、武生医師会、福井大学医学部附属病院、福井県立病院、福井県済生会病院、福井県腎友会

(7) 交通運輸関係

(社)福井県トラック協会、日本通運(株)福井支店、中日本高速道路(株)金沢支社、福井保全サービスセンター、(社)日本自動車連盟

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)、(株)NTT西日本-北陸、(株)NTT西日本-ホームテクノ北陸、(株)NTTネオメイト、(株)NTTファシリティーズ、(株)NTTドコモ北陸支社、(株)NTTドコモエンジニアリング北陸、KDDI(株)北陸総支社、北陸電力(株)丹南支社、(社)福井県エルピーガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(社)日本簡易ガス協会近畿支部福井県防災会、関西電力(株)、日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構

(9) 放送関係

南越前町ケーブルテレビ、丹南ケーブルテレビ(株)、NPO法人たんなん夢レディオ

(10) 各種団体

郵便局(株)北陸支社、北陸地方非常通信協議会、福井県生活協同組合連合会、(株)ローソン、福井県災害ボランティアセンター連絡会、NPO法人日本災害救援飛行協会、NPO法人災害救助犬ネットワーク、今庄老人保健施設、南越前町防犯隊、南越前町交通指導員会

(11) 地元地区関係(南越前町住民)

(12) 福井県

(13) 南越前町、鯖江市、越前市、池田町、越前町

6 訓練種目(36種目)

交通整理・避難誘導訓練、避難所開設・運営訓練、住民避難訓練、仮設避難所体験訓練、全自主防災組織による避難結果確認・報告訓練、仮設ヘリポート設置訓練、航空偵察訓練、被害状況調査訓練、ヘリによる仮設ヘリポートへのバイク移送、バイクによる偵察訓練、オフロードバイクによる状況確認・衛星携帯電話による通信訓練、道路啓開(開通)訓練、孤立被災者吊上救出・搬送訓練、土砂災害現場における救出救助訓練、がれきの下の医療、トリアージ訓練、負傷者応急救護訓練、陸自高機動車による負傷者搬送訓練、県下9消防本部集結訓練、倒壊・座屈建物からの救出救助訓練、負傷者空輸搬送訓練、現地災害ボランティアセンターおよび県災害ボランティア本部設置運営訓練、救護所設置・医療救護訓練、血液および医薬品の緊急輸送訓練、仮設避難所設置訓練、応急生活物資供給訓練、LPガス漏洩復旧訓練、電力施設復旧訓練、仮設避難所における衛星回線・衛星携帯電話等を利用した通信手段確保訓練、林野火災防ぎよ訓練、通信訓練、情報伝達訓練、炊き出し訓練、医療機関情報伝達訓練、隣接地区待機要請および救護班派遣訓練、各種体験・展示

7 災害想定

平成20年9月7日午前08時30分頃、福井市北部を震源地とする地震が発生した。震源地は、北緯35.8度、東経136.2度、震源の深さは約10km、地震の規模(マグニチュード)は7.0と推定され、南越前町で震度6強を観測した。

この地震によって、震源地付近の南越前町では、家屋の倒壊や火災、また土砂崩れ等による道路の通行不能により山間部に孤立集落が発生する等、甚大な被害が発生した。

Ⅱ 原子力防災総合訓練

平成20年度原子力防災総合訓練を、次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および原子力災害対策特別措置法に基づき、国、県、関係府市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力防災訓練を実施し、緊急時における通信連絡体制の確立、緊急時医療活動等の災害対策の習熟と、防災関係機関相互の協力体制の強化を図るとともに、住民の原子力防災に対する理解の促進を図ることを目的とする。

2 主催 福井県、高浜町、おおい町

3 連携開催 京都府、舞鶴市、綾部市

4 実施日 平成20年10月25日(土)

5 訓練対象発電所 関西電力(株) 高浜発電所3号機

6 参加・協力機関(順不同)

(1) 国の関係機関等

ア 本省

内閣府原子力安全委員会、経済産業省原子力安全・保安院、地域原子力安全統括管理官事務所(若狭地域担当)、高浜原子力保安検査官事務所、敦賀原子力保安検査官事務所、美浜原子力保安検査官事務所、大飯原子力保安検査官事務所、文部科学省、消防庁

イ 指定地方行政機関等

経済産業省中部近畿産業保安監督部、同近畿経済産業局、中部管区警察局福井県情報通信部、文部科学省敦賀原子力事務所、厚生労働省福井労働局、国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所、同中部運輸局福井運輸支局、気象庁福井地方気象台、海上保安庁第八管区海上保安本部、同美保航空基地、敦賀海上保安部、舞鶴海上保安部、小浜海上保安署、(独)原子力安全基盤機構、原子力緊急時支援・研修センター

(2) 自衛隊関係

陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第372施設中隊、陸上自衛隊第10飛行隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、航空自衛隊第6航空団、自衛隊福井地方協力本部

(3) 自治体関係

京都府、滋賀県、小浜市、美浜町、舞鶴市、綾部市、県内各市町

(4) 警察関係

福井県警察本部、小浜警察署、京都府警察本部

(5) 消防関係

若狭消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、福井市消防局、永平寺町消防本部、舞鶴市消防本部、県内各消防本部、高浜町消防団

(6) 医療機関関係

(社) 福井県医師会、日本赤十字社福井県支部、(社) 福井県放射線技師会、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、広島大学、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、社会保険高浜病院、国立病院機構福井病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井社会保険病院、公立丹南病院、レイクヒルズ美方病院、国立病院機構あわら病院、市立三国病院、国家公務員共済組合舞鶴共済病院

(7) 報道機関

日本放送協会福井放送局、福井放送(株)、福井テレビジョン放送(株)、福井エフエム放送(株)、その他報道機関

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTドコモ北陸支社

(9) 交通運輸関係

(社) 福井県バス協会、中日本高速道路(株)金沢支社、日本海港運(株)、その他バス事業者

(10) 漁業関係

福井県無線漁業協同組合、福井県漁業協同組合連合会、若狭高浜漁業協同組合、敦賀市漁業協同組合、若狭三方漁業協同組合、丹生漁業協同組合、菅浜漁業協同組合、美浜漁業協同組合、日向漁業協同組合、河野村漁業協同組合、小浜市漁業協同組合、大島漁業協同組合、雄島漁業協同組合、三国港漁業協同組合、三国港機船底曳網漁業協同組合、福井市漁業協同組合、越廼漁業協同組合、越前町漁業協同組合

(11) 原子力事業者関係

関西電力(株)、日本原子力発電(株)、(独) 日本原子力研究開発機構、(財) 原子力安全技術センター、関電プラント(株)、原電情報システム(株)、原電事業(株)

(12) 各種団体等

北陸地方非常通信協議会、(社福) 高浜町社会福祉協議会、高浜町赤十字奉仕団 他

(13) 主催者

福井県、高浜町、おおい町

7 訓練想定

平成20年10月25日、関西電力(株)高浜発電所3号機において、蒸気発生器に水を供給する主給水ポンプの故障から炉心損傷に至り、排気筒から放射性物質が放出され、周辺環境に影響を及ぼすおそれが生じた。さらに、高浜発電所内で火災が発生したという想定で、福井県地域防災計画(原子力防災編)等に基づく各種の応急活動を実施する。

8 訓練項目

(1) 緊急時通信連絡訓練

- ア 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、收受等
- イ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達
- ウ 衛星車載局および携帯型映像伝送装置を利用した画像伝送

(2) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県総合防災センター（原子力災害対策本部室）における災害対策本部等の運営および福井県高浜原子力防災センターにおける県現地災害対策本部等の運営
- イ 関係市町における災害対策本部等の運営および福井県高浜原子力防災センターにおける関係市町現地災害対策本部等の運営
- ウ 災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(3) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県高浜原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議への参画
- ウ 国災害対策本部等との対策会議の実施
- エ 緊急事態対応方針決定会議への参画
- オ 原子力災害合同対策協議会への参画
- カ 各機能班への参画
- キ 現地災害対策本部等と各機能班との連携
- ク 福井県大飯原子力防災センターにおける後方支援の実施
- ケ 原子力緊急時支援・研修センターによる支援
- コ 緊急時活動の解説アナウンスの実施

(4) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県高浜原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 知事による災害派遣要請
- ウ 船舶による住民の海上避難援助
- エ 避難者等の搜索救助、移送
- オ 空中モニタリング支援
- カ 海上モニタリング支援

(5) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンターの設置・運営
- イ 待機施設の設置・運営および後方支援
- ウ 相互応援による職員派遣および資機材の提供
- エ 連続監視・拡散予測
- オ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理
- カ モニタリングカーによる陸上モニタリング
- キ 船舶による海上モニタリング
- ク ヘリコプターによる空中モニタリング
- ケ 高機能モニタリングカーによる環境試料測定
- コ 環境試料の採取・簡易測定・搬送および仮設機器の設置・運用・撤収
- サ オフサイトセンター機能班（放射線班）との連携
- シ 防災モニタリングロボットの試験活動

(6) 緊急被ばく医療措置訓練

- ア 緊急時医療本部等の運営
- イ 福井県大飯原子力防災センターおよび若狭健康福祉センターにおける後方支援の実施
- ウ 医療資機材の搬送および点検
- エ ヨウ素剤搬送および調剤
- オ スクリーニング
- カ 救急医療、救急搬送 [救急車、ヘリコプター]
- キ 除染・検査
- ク 社会保険高浜病院（初期被ばく医療機関）、県立病院緊急時医療対策施設（二次被ばく医療機関）、福井大学医学部附属病院（二次被ばく医療支援機関）への搬送
- ケ 広島大学（三次被ばく医療機関）との連携
- コ 心とからだの健康相談窓口の設置
- サ 体内放射線測定車等の展示および体験
- シ 地域住民等に対する講習会の実施

(7) 住民避難・退避訓練

- ア 住民等の避難・退避（陸路、海路、空路）
- イ 災害時要援護者の避難・退避
- ウ 観光客、釣り客等一時滞在者の避難
- エ 防災関係機関の連携による避難
- オ 避難区域内の事故情報センターの設置・運営

(8) 避難所等運営訓練

- ア 被災地住民の登録
- イ 避難住民への事故状況説明や解説アナウンスの実施
- ウ 避難所・救護所の設置運営
- エ 飲料水・飲食物の供給
- オ 各種相談の実施
- カ 原子力防災活動資機材の緊急輸送
- キ 災害用伝言ダイヤルの活用
- ク 避難所への原子力防災センター内画像等の伝送
- ケ 手話通訳の配置
- コ 外国語通訳の配置
- サ 福祉施設との連携

(9) 広報訓練

- ア 報道機関への報道要請
- イ ケーブルテレビ、屋外拡声器、広報車、船舶による地域住民等への広報

(10) 交通対策等措置訓練

- ア 交通規制措置（陸上・海上）
- イ 立入制限措置
- ウ 観光客等一時滞在者等に関する情報収集および交通制限

(11) 原子力事業者自衛消防隊等消火訓練

- ア 原子力事業者自衛消防隊初期消火訓練
- イ 消火活動における消防機関と原子力事業者の連携訓練

(12) 避難地域に対する関係機関の対応訓練

- ア ヘリコプターによる偵察活動訓練（画像伝送等）
- イ オフロードバイク、軽装甲車による偵察活動訓練
- ウ 避難地域への防災関係者搬送訓練
- エ 被害情報等収集、情報伝達訓練

(13) 福井県広域消防相互応援協定に基づく応援隊出場訓練

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

※このほか、適宜図上訓練等を実施している。

種別	年度	16	17	18	19	20
日	時	平成17年9月4日(日)	平成18年9月3日(日)	平成19年8月26日(日)	平成20年9月7日(日)(当日中止)	
総合防災訓練	場所	勝山市弁天緑地公園およびえちぜん鉄道勝山駅周辺	小浜市川崎地区(小浜漁港)	福井市下森田地区(丸頭覚川緑地多目的広場)	南越前町今庄365スキー場	
	主催	福井県、勝山市他奥越地域全市村	福井県、嶺南地域各市町	福井県、福井・坂井地域各市町	福井県、丹南地域各市町	
	参加機関		77	81	77	78
	訓練種目		32	26	25	36
	想定	※総合訓練を中止し、集中豪雨による水害を想定した情報伝達訓練を実施	集中豪雨による災害	地震による災害(津波を含む)	地震による災害	地震による災害 ※大雨・洪水警報発令のため、住民避難訓練と防災研修会のみ実施
参加人員	200	1,300	1,644	2,800	480	
石油コンビナート等総合防災訓練	日時			平成18年5月28日(日)		
	場所			福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域		
	主催			福井県石油コンビナート等防炎本部		
	参加機関			27		
	訓練種目			27		
想定			船舶火災、タンク火災			
参加人員			1,060			
原子力発電所(関西電力・高浜発電所1号機)を対象とした総合防災訓練	日時	平成17年3月21日(月)	(休止)	平成18年11月19日(日)	平成19年11月18日(日)	平成20年10月25日(土)
	訓練対象施設	関西電力(株)高浜発電所1号機		関西電力(株)大飯発電所1号機	日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機	関西電力(株)高浜発電所3号機
	主催	福井県、高浜町、大飯町		福井県、おおい町、小浜市、高浜町	福井県、敦賀市、美浜町、南越前町	福井県、高浜町、おおい町
	参加機関	124		105	115	120
	訓練種目	10		10	10	13
想定	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	※美浜発電所を対象とした国民保護訓練を実施したため、総合訓練を休止し、初動対応訓練を実施	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	
参加人員	1,800		1,600	1,500	2,000	
国民保護訓練	日時		平成17年11月27日(日)			
	場所		関西電力(株)美浜発電所2号機			
	主催		内閣官房、福井県、美浜町、敦賀市			
	参加機関		140			
	訓練種目		6			
想定		テログループによる攻撃を受け、施設の一部が損傷を受けたことにより、放射性物質が放出されるおそれが生じる				
参加人員		1,800				

Ⅳ 市町別自主防災組織の結成状況

平成21年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (B/A)
福 井 市	92,533	1,110	75,119	75,119	81.2%
敦 賀 市	26,830	82	2,610	20,957	78.1%
小 浜 市	11,460	81	845	5,676	49.5%
大 野 市	11,703	151	3,166	7,318	62.5%
勝 山 市	8,050	107	1,604	7,108	88.3%
鯖 江 市	21,214	141	6,610	19,232	90.7%
あ わ ら 市	9,905	10	1,312	1,388	14.0%
越 前 市	26,612	217	4,109	24,000	90.2%
坂 井 市	28,554	306	2,691	19,750	69.2%
永 平 寺 町	5,865	90	2,474	5,499	93.8%
池 田 町	1,073	21	153	787	73.3%
南 越 前 町	3,566	67	821	3,202	89.8%
越 前 町	7,279	35	720	4,305	59.1%
美 浜 町	3,742	14	154	1,800	48.1%
高 浜 町	4,033	5	129	285	7.1%
お お い 町	3,143	8	109	469	14.9%
若 狭 町	4,897	97	1,519	4,463	91.1%
合計・ 平均	270,459	2,542	104,145	201,358	74.5%

※管内世帯数は、住民基本台帳人口に基づく人口、世帯数調べ（平成21年3月末現在）

第4章 平成20年度防災行政無線利用状況

概 況

平成10年4月から運用を開始した福井県防災情報ネットワークは、デジタル多重回線や衛星回線による2ルート化等の特色を持っており、同年10月には衛星車載局を加え、災害現場からの映像による情報伝達が可能となるなど通信体制がより強化され、県の防災対策において大きな役割を果たしてきた。平成19年度には、60MHzから260MHzへの周波数移行に伴い防災情報ネットワーク再整備工事を実施することにより、本ネットワークは、衛星回線、多重無線回線、260MHzデジタル通信回線、260MHzヘリ用通信回線、150MHzアナログ移動回線で構成されるようになった。一般行政事務用として電話・FAXに使われると共に、県の行政情報ネットワークや各種テレメータにも活用されている。

今後は、災害時において防災行政無線を利用しての情報収集・伝達活動が迅速に行えるよう、定期的に通信訓練を行っていく。また、全局を対象に機器の保守点検を実施し、その際には現地で各局の防災行政無線担当者に対し機器操作の指導等を行い、防災関係機関との連携をより強化していく。

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧 (平成21年4月1日現在)

〔固定系〕

区 分	局 数		設 置 場 所
	地上系	衛星系	
統 制 局	1	1	県庁
中 継 局	7		越知山 (越前町大谷寺) 久須夜ヶ岳 (小浜市堅海) 村国山 (越前市村国) 陣ヶ岡 (坂井市三国町陣ヶ岡) 八ツ杉 (越前市別印) 岳山 (三方郡美浜町早瀬) 青葉山 (大飯郡高浜町中山)
支 部 局	10		10土木事務所 (福井、三国、大野、勝山、鯖江、武生、今立、朝日、敦賀、小浜)
合 庁 局	3		3合同庁舎 (福井、丹生、坂井)
ダム管等局	11		原子力センター (敦賀市吉河) 龍ヶ鼻ダム管 (坂井市丸岡町上竹田) 龍ヶ鼻ダム下流事務所 (坂井市丸岡町長畝) 永平寺ダム (永平寺町志比) 笹生川ダム管 (大野市中野) 笹生川堰堤 (大野市本戸) 広野ダム管 (南越前町今庄) 広野堰堤 (南越前町広野) 榊谷ダム (南越前町宇津尾) 真名川発電 (大野市五条方) 浄土寺川ダム (勝山市村岡町浄土寺)
小 計	32	1	
端 末 局	県出先機関	18	18：健康福祉センター (福井、坂井、奥越、丹南、三州、若狭) 武生福祉保健部、県立病院、越前漁港 福井港湾、敦賀港湾、福井空港、中島発電、滝波発電 環境センター、防災航空事務所、坂井上水、日野川上水
	市 町	34	9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭 11旧町：美山、清水、今立、丸岡、三国、春江、永平寺、今庄、越前、織田、上中 6旧村：越廼、和泉、上志比、河野、宮崎、名田庄
	消防本部	9	9 消防本部 (福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭)
	国・公共機関等	15	15：福井気象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ
	小 計		76
衛 星 車 載		1	
可 搬 型 地 球 局		1	
合 計	32	79	

〔移動系〕

区 分		局 数	設 置 場 所
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、ハツ杉） 土木事務所（勝山、敦賀） 笹生川ダム管
	第二全県移動	8	県 庁 中 継 局（越知山、久須夜ヶ岳、村国山） 土木事務所（三国、勝山、大野、敦賀）
	FWA (18GHz)	1	土木事務所（三国）
	400MHz 防災相互	1	防災航空事務所
	計	21	
携帯基地局（ヘリ用） 260MHzデジタル		5	中継局（越知山、久須夜ヶ岳） 土木事務所（三国、大野、敦賀）
航 空 局		4	防災航空事務所（可搬用含む）
陸 上 移 動 局	全県移動局 260MHzデジタル	車載型 47	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、大野4台、勝山3台、武生4台、 今立3台、朝日6台、敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所、衛星車載局
		半固定型 39	県出先機関8台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
			市9台：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
			町8台：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
			消防本部9台：福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭 防災関係機関5台：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井
	携帯型 70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台	
	小 計 156		
	第二全県移動局	車載型 17	県庁 14台、奥越合同庁舎、若狭合同庁舎、衛星車載局
		可搬型 5	県庁 5台
		小 計 22	
	FWA (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局
	消 防 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所
		携帯型 8	県庁 2台、防災航空事務所 6台
		小 計 9	
	防 災 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所、400MHz 防災相互
携帯型 5			
小 計 6			
計		194	
携 帯 局（ヘリ用）	防災用 1	防災ヘリコプター	
	消防用 1	"	
	小 計 2		
航 空 機 局		航行運航用 1	
簡 易 無 線 局		2	簡易画像伝送装置
合 計		229	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

区 分	一年間の総計	一月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 局	132,759	11,063	(10局) 1,106
合庁・ダム管等局	64,171	5,348	(18局) 297
県出先機関	2,332	194	(18局) 11
市 町	11,769	981	(35局) 28
消 防 本 部	513	43	(9局) 5
国出先機関	26	2	(5局) 0.4
公 共 機 関	145	12	(9局) 1.3
原子力発電所	35	3	(6局) 0.5
合 計	211,750	17,645	(110局) 160

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指令回数	46	676	521	1,243	254	58	1,555
前年比(%)	124	112	94	104	95	68	101

[指令種類別]

区 分	全 県	支 部	市町村	消 防	支 部 市町村	合 計
指令回数	775	88	284	237	—	1,384
前年比(%)	91	111	93	89	—	83

(3)一斉指令月別通信回数

平成20年中

区分	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
内容	気警報	2	5	0	0	1	10	12	7	0	3	6	46
	象注意報	47	62	57	43	36	78	102	45	28	62	81	676
	関係情報	94	73	58	17	13	36	49	33	14	30	86	521
	小計	143	140	115	60	53	124	163	85	42	95	173	1243
別	事務連絡	12	15	24	24	18	24	39	19	14	20	17	254
	テラスト	0	0	13	3	2	4	3	0	12	5	15	58
種類	計	155	155	152	87	83	152	205	104	68	120	205	1555
	全県一斉	25	37	107	54	43	110	52	105	42	88	66	775
別	支部・合庁・他	18	7	6	6	3	8	5	3	2	8	13	88
	市町村一斉	18	7	31	23	46	33	31	18	15	22	26	284
	消防一斉	23	8	34	24	46	19	23	16	16	3	16	237
	支都市町村一斉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	84	59	178	107	138	78	170	111	142	75	121	121	1384

3 多重局通信回数集計表

平成20年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	0	0	2,054	1,455	3,036	2,963	2,545	2,163	2,670	3,092	2,183	2,535	24,696
三国支部	0	0	721	580	1,025	1,059	1,122	858	1,060	1,001	998	1,015	9,439
大野支部	0	0	1,187	852	1,442	1,438	1,544	1,339	1,543	1,816	1,273	1,329	13,763
勝山支部	0	0	516	344	549	650	686	553	498	575	632	549	5,552
鯖江支部	0	0	1,043	1	2	5	9	5	41	5	3	3	1,117
武生支部	0	0	1,551	1,354	2,845	2,514	2,749	2,437	2,566	3,006	2,152	2,246	23,420
今立支部	0	0	588	396	648	630	667	517	699	791	592	501	6,009
朝日支部	0	0	831	1,039	1,850	1,654	1,853	1,387	1,551	1,981	1,529	1,473	15,148
敦賀支部	0	0	1,282	729	1,612	1,525	1,507	1,223	1,353	1,453	1,141	1,205	13,030
小浜支部	0	0	1,775	1,247	2,427	2,423	2,313	1,692	2,014	2,494	2,067	2,133	20,585
福井合庁	0	0	2,000	1,598	3,197	3,280	3,180	2,563	3,054	3,998	3,142	3,336	29,348
坂井合庁	0	0	1,309	699	1,464	1,339	1,371	1,226	1,312	1,509	1,129	1,131	12,489
奥越合庁	0	0	244	81	189	207	170	162	191	263	186	186	1,879
南越合庁	0	0	806	711	1,248	1,357	1,272	1,101	1,085	1,330	920	1,041	10,871
敦賀合庁	0	0	46	19	54	44	48	106	42	42	45	76	522
若狭合庁	0	0	4	9	19	22	26	32	34	25	17	1	189
丹生合庁	0	0	430	235	439	452	413	372	406	461	350	344	3,902
原子力センタ	0	0	218	133	235	241	324	258	288	417	272	364	2,750
養生川ダム	0	0	104	36	120	65	70	98	104	117	78	43	835
広野ダム	0	0	2	0	0	8	0	2	2	8	1	0	23
広野堰堤	0	0	16	15	41	34	31	37	34	45	29	28	310
真名川発電	0	0	33	19	28	50	37	40	41	43	41	35	367
奥越発電	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	1	0	6
龍ノ鼻ダム	0	0	45	26	63	53	62	38	57	47	40	32	463
浄土寺川ダム	0	0	6	0	1	0	4	39	8	5	3	3	69
永平寺ダム	0	0	9	0	0	1	4	2	1	1	0	3	21
養生川堰堤	0	0	0	2	7	9	17	38	11	2	5	1	92
榑谷ダム	0	0	6	3	4	5	4	1	2	2	0	8	35
計	0	0	16,806	11,587	22,546	22,028	22,028	18,289	20,667	24,529	18,829	19,621	196,930

4 端末局無線通信回数調

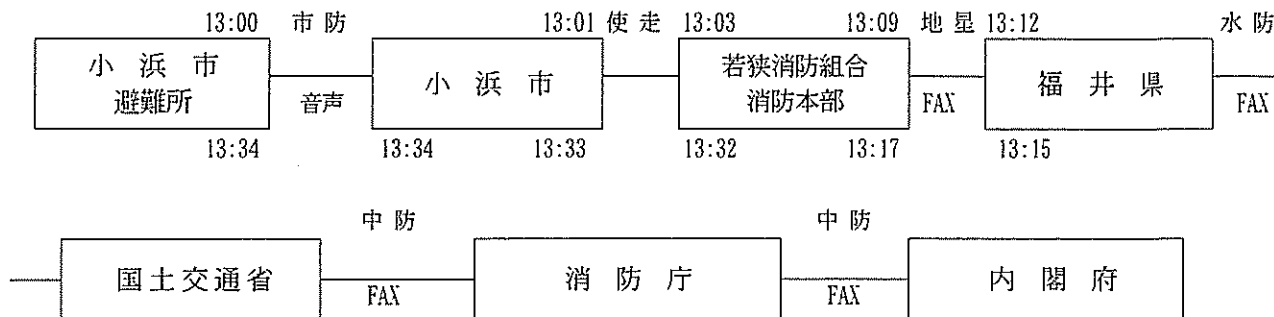
平成20年中

無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	400	衛 生 環 境	723	福 井 気 象 台	8
福 井 市 美 山	409	福 井 保 健	59	鯖 江 自 衛 隊	4
福 井 市 清 水	303	坂 井 保 健	217	舞 鶴 自 衛 隊	2
福 井 市 越 廼	300	大 野 保 健	57	敦 賀 海 保	9
敦 賀 市	346	勝 山 保 健	2	三 国 海 保	3
小 浜 市	366	鯖 江 保 健	218	国 出 先 計	26
大 野 市	453	武 生 保 健	20		
大 野 市 和 泉	349	二 州 保 健	177		
勝 山 市	356	若 狭 保 健	51	福 井 駅	24
鯖 江 市	67	県 立 病 院	48	N H K	19
あ わ ら 市	360	越 前 漁 港	13	日 赤 福 井	8
あ わ ら 市 芦 原	5	福 井 港 湾	15	福 井 県 医 師 会	3
越 前 市	327	敦 賀 港 湾	14	福 井 火 力	5
越 前 市 今 立	331	福 井 空 港	7	福 井 備 蓄	21
坂 井 市	406	中 島 発 電	13	公 共 機 関 計	80
坂 井 市 三 国	316	滝 波 発 電	275		
坂 井 市 丸 岡	433	坂 井 上 水	135	原 電 敦 賀	4
坂 井 市 春 江	322	防 災 航 空 事 務 所	281	関 電 美 浜	6
市 計	5,849	県 出 先 計	2,325	関 電 高 浜	4
永 平 寺 町	454			関 電 大 飯	5
永 平 寺 町 永 平 寺	248	福 井 消 防	48	「サイクル機構」ふげん	1
永 平 寺 町 上 志 比	293			「サイクル機構」もんじゅ	15
池 田 町	407	大 野 消 防	70	原 子 力 発 電 所 計	35
南 越 前 町	361	勝 山 消 防	39		
南 越 前 町 今 庄	301	永 平 寺 消 防	31		
南 越 前 町 河 野	304	嶺 北 消 防	50		
越 前 町	351	鯖 江 丹 生 消 防	166		
越 前 町 宮 崎	332	南 越 消 防	23		
越 前 町 越 前	319	敦 賀 美 方 消 防	43		
越 前 町 織 田	311	若 狭 消 防	43		
美 浜 町	337	消 防 計	513		
高 浜 町	461				
お お い 町	455				
お お い 町 名 田 庄	318				
若 狭 町	339				
若 狭 町 上 中	329				
町 村 計	5,920				
市 町 村 計	11,769			合 計	14,748

5 非常通信訓練実施状況

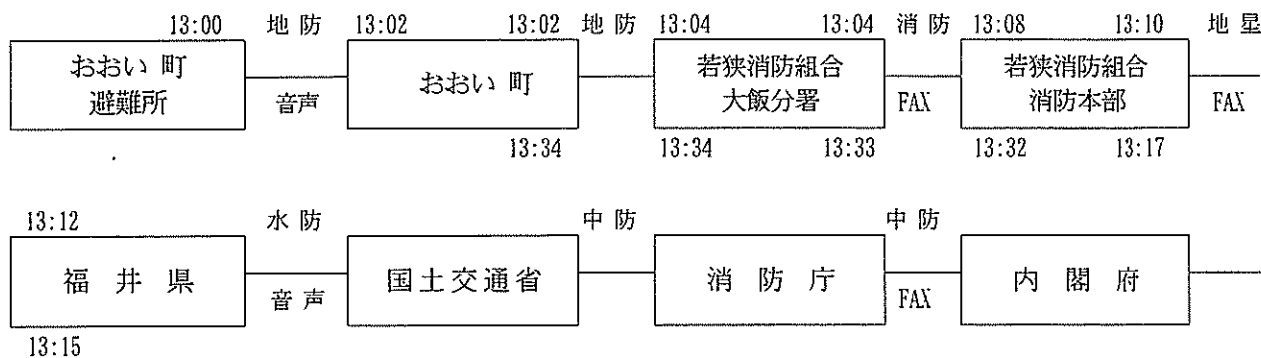
(1) 平成20年度第69回春期全国非常通信訓練 (平成20年6月25日)

小浜市から福井県知事あて、福井県知事から内閣府へ往復信



所要時間 往信 11分 復信 32分

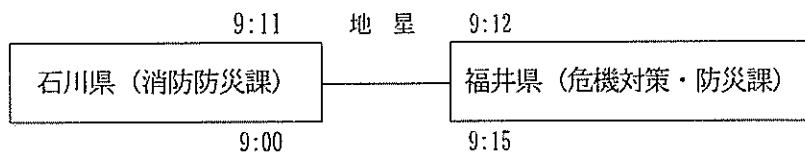
おおい町長から福井県知事あて、福井県知事から内閣府へ往復信



所要時間 往信 10分 復信 19分

(2) 平成20年度 石川県非常通信訓練 (平成20年9月7日)

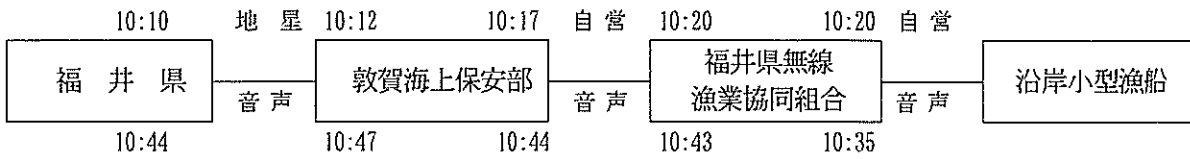
石川県知事から福井県知事あて往復信



所要時間 往信 1分 復信 2分

(3) 平成20年度第2回福井県非常通信訓練 (平成20年10月25日)

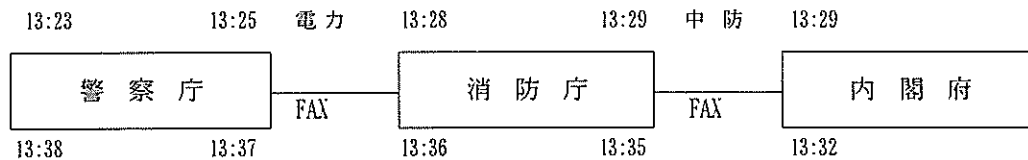
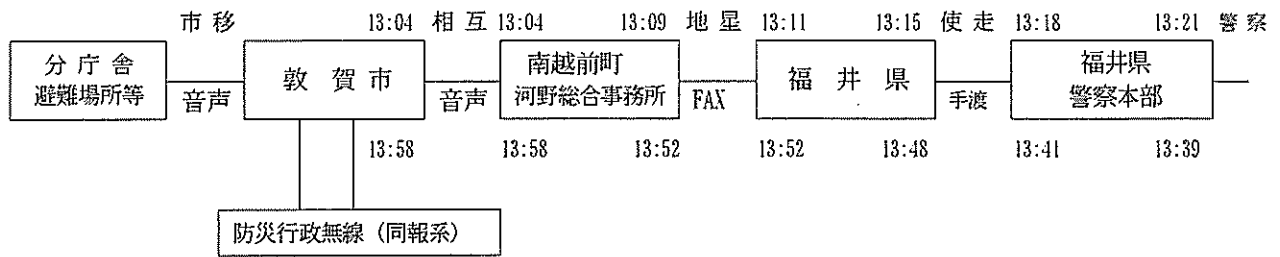
福井県から福井県無線漁業協同組合へ往復信



所要時間 往信 10分 復信 9分

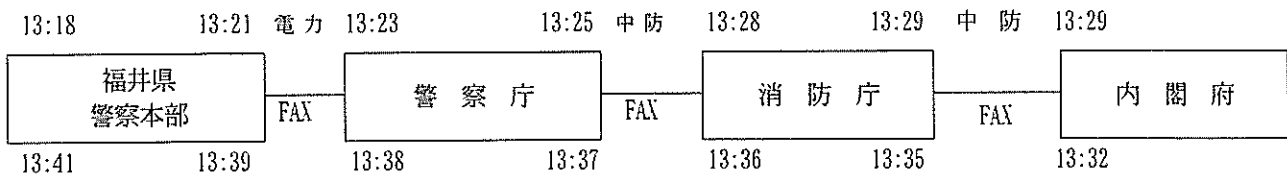
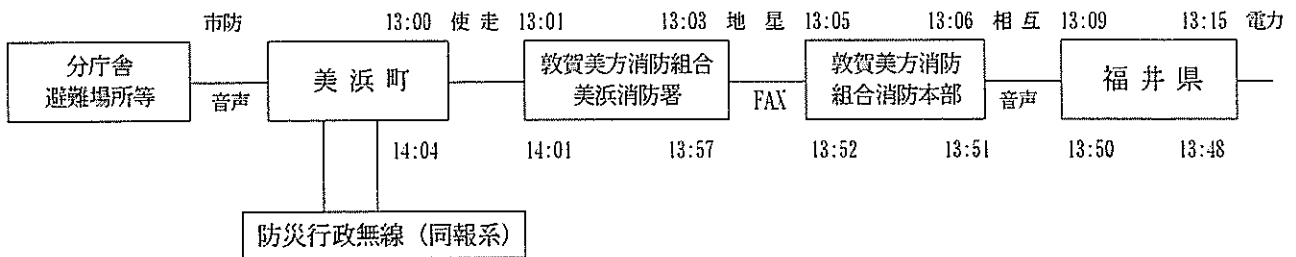
(4) 平成20年度 第70回 秋期全国非常通信訓練 (平成20年11月18日)

敦賀市から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



所要時間 往信 25分 復信 26分

美浜町から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



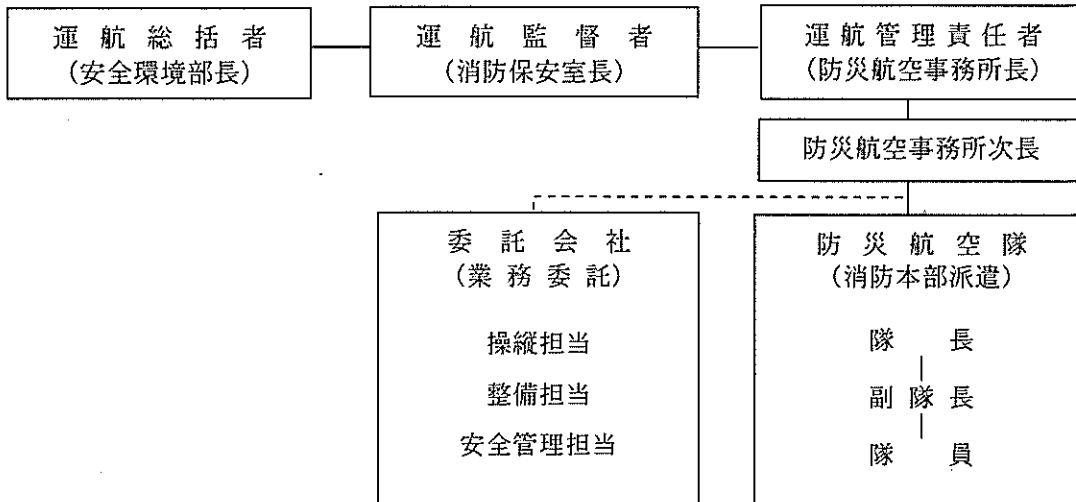
所要時間 往信 29分 復信 32分

第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井空港内福井県防災航空事務所

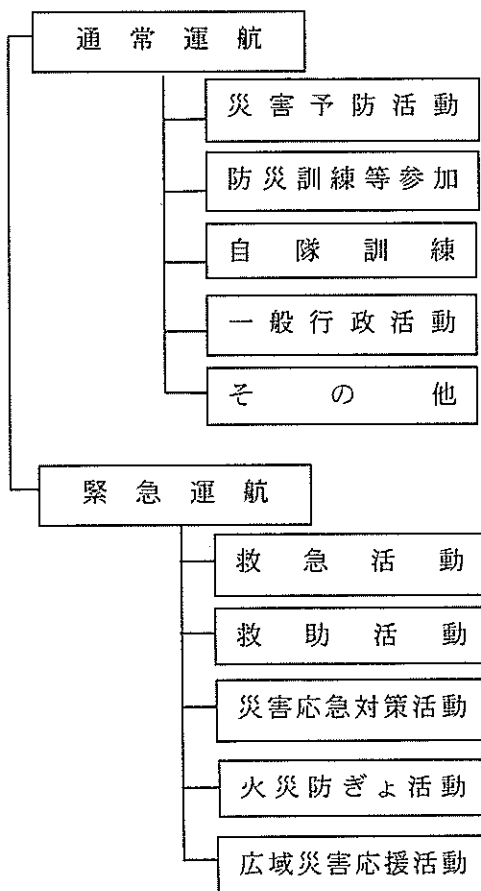
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時30分まで
(ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで)

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-1
メーカー(製造国)	川崎重工業(日本)
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,350kg
最大搭載可能重量	1,586kg
航続距離(機外タンク使用)	740km
担架搬入装置	4基
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,300kg
全長	13.00m
全高	3.85m
最大速度	278km/h
航続時間	3.3h
着陸方式	スキッド方式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

平成21年3月31日現在

	緊急運航						通常運航						合計	
	救急	救助	災害応急	火災防抑	広域災害 応援	計	自隊訓練	防災訓練 参加	災害予防活動 危険箇所 調査	災害予防活動 広報	一般行政	整備		その他
平成11年度	件数 3	7	3		2	15	89	36	22	9	41	10	60	282
	時間 4:28	5:55	3:10		5:30	19:03	113:45	28:35	26:50	12:35	52:15	3:15	64:35	320:53
平成12年度	件数 19	14		1		34	101	52	6	6	29	17	11	256
	時間 17:42	7:09		1:10		26:01	139:10	41:55	10:40	14:46	33:45	7:30	7:45	281:32
平成13年度	件数 12	13		6	2	33	113	48	9	24	34	19	5	285
	時間 18:22	11:21		9:45	16:05	55:33	138:40	39:35	13:00	34:30	28:10	9:35	5:45	324:48
平成14年度	件数 18	21	3	1	4	47	91	57	10	5	25	4	4	243
	時間 15:14	24:45	4:55	0:10	7:52	52:56	110:01	48:39	11:50	8:55	26:29	1:30	9:02	269:22
平成15年度	件数 25	29		1	2	57	140	58	6	7	19	3	5	295
	時間 16:10	16:20		0:35	2:15	35:20	180:41	51:55	7:20	12:35	19:46	7:07	2:20	317:04
平成16年度	件数 32	32	5	5	9	83	91	44	7	2	7	7	3	244
	時間 23:17	36:59	13:00	5:27	19:22	98:05	109:25	38:15	9:23	6:12	10:05	10:20	2:02	283:47
平成17年度	件数 36	27	0	4	8	75	98	38	0	6	11	5	2	235
	時間 27:24	18:46	0	4:09	11:19	61:38	135:21	30:20	0	11:30	13:07	7:40	1:26	261:02
平成18年度	件数 35	26	4		1	66	96	43	0	3	16	6	3	233
	時間 25:00	27:31	3:26		1:08	57:05	131:13	37:04	0	5:00	19:28	2:09	2:19	254:18
平成19年度	件数 36	37		3	2	78	107	60	0	3	9	19	6	282
	時間 18:15	40:29		8:27	1:02	68:13	148:44	58:03	0	11:15	7:32	18:04	5:17	317:08
平成20年度	件数 34	27			7	68	96	48	0	3	7	12	12	246
	時間 30:41	19:05			7:30	57:16	122:16	39:54	0	11:17	6:22	9:36	14:09	260:50

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

第6章 衛星車載局の運用体制

1 収 容

福井県消防学校内

2 運用組織図

使用管理者 (危機対策・防災課長)	—	運用統括責任者：運用総括業務	1名
	—	通信機器操作員：通信機器類の操作、調整 県庁統制局の操作、調整	2名 1名
	—	情報収集伝達員：情報の収集、伝達	2名

3 運 用

非常時の運用

災害発生もしくは発生する恐れがあるときに、災害の予防、被災後の救助および復旧などの災害対策等に必要な情報の収集・伝達を行う。

平常時の運用

業務、事業、イベント等の紹介を行う。

非常時および平常時とも映像情報の伝送を可能としていることにより、より詳細な状況の把握、広報等が可能である。

4 主な仕様

<アンテナ装置>

反射鏡部	オフセットパラボラ	有効開口径 1.8m
駆動部	電動/手動	
衛星捕捉	GPS等各種センサーおよび送受信装置受信偏波特性比較機による完全自動衛星捕捉が可能	

<送受信装置>

画像系電力増幅部	飽和最大出力	300W以上 (TWT)
個別通信系電力増幅部	飽和最大出力	40W以上 (SSPA)

<端局装置>

実装チャンネル数	個別最大通信回線用	4CH
	一斉指令用	1CH
	デジタル画像送信用	1CH
	デジタル画像受信用	1CH
	デジタル画像(準動画)用	1CH
デジタル画像変復調部	動 画：6 Mbps	
	準動画：64 kbps / 384 kbps 切替可能	

<一斉指令装置>

一斉指令	衛星系端末局向けに音声・FAXによる発令可能
種 別	全対象局一斉、全市町村一斉、全消防一斉、地域/区分指定、個別局指定

<その他端末装置>

全県移動車載型無線装置	260MHz デジタル通信 複信方式
第二全県移動車載型無線装置	150MHz 複信方式(または半複信方式)
衛星自動車電話	衛星携帯・自動車電話対応
簡易画像伝送装置	50GHz 帯回線構成での画像伝送